

事業概要書

事業名	THE POWER OF MUSIC! みんなのコンサート in 東北				
開始日	2011年5月1日	終了日	2012年1月31日	日数	276日
団体名	特定非営利活動法人みんなのことば				

総額 (税込)	6,257,619円	スタッフ人数	20人 (非常勤スタッフ・音楽家含む)
---------	------------	--------	---------------------

事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ■ 生演奏のコンサートで“聴く”“歌う”“演奏に参加する”ことを通して、音楽の持つ様々な効果により被災者の方をサポートし、長引く避難生活の中での感情の発散や未来への希望を持つなど、精神的活力を取り戻し、生活再建・復興への一助を担う。 ■ 事前に開催場所になる被災地コミュニティとの対話を重視し、コンサートのすすめ方の相談や協力を依頼して、ともにコンサートをつくりあげることで、被災地の方々に一体感や達成感を供与する。 ■ 報告会コンサートについては、現地の状況を、音楽の活動を通して東京エリアに住む人々へ伝え、現地への理解と継続したサポート、および防災意識の啓発をする。
事業全体の概要	<p>【背景】</p> <p>震災から3ヶ月以上が経ち、未だにもとの生活に戻るには時間がかかる現状。少しずつ仮設住宅の建設が進められているものの、まだ避難所生活を送る人は7万人以上。大切な人を失った悲しみも、子どもたちの元気も、まだ思いっきり発散しきれていない日々が続いている。</p> <p>毎日のストレスと、未来への不安の中、少しでも元気・笑顔・希望を与えられるのが音楽の力。少しずつ、現地ではコンサートが行われているが、体育館などの大きなコンサートでは、来ることができない人もいる。</p> <p>そこで、NPO みんなのことばが普段幼稚園等でおこなっている小規模のコンサートを避難所や学校等へ直接お届けして、目の前で生演奏を体感し、寄付された楽器や手作り楽器で演奏に参加し、知っている曲と一緒に歌えるプログラムをよりお届けするため、この事業を企画する。</p> <p>【概要】</p> <p>2011年6月より、宮城県および岩手県の被災地域の学校（保育園、小学校等）または避難所等で、1回45分の生演奏によるミニコンサートを開催する。通常東京でプロとして活躍するフルート、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロの4名の演奏者と司会が4泊5日に出向き、1つの町につき、1日3箇所前後で開催し、音楽を聴き、一緒に歌い、演奏する機会を提供する。また、東京でカスタネット等の楽器の寄付を募集し、それを使って参加者が一緒に演奏できるプログラムを含める。</p> <p>開催場所は避難所、子どもの教育機関（保育所を含む）を優先して選定する。また、可</p>

	<p>能な限りコーディネーターが事前に訪問し、被災地のボランティアセンターや災害対策本部ほか関係者と綿密に連絡をとって地域の特性や被災の経緯などを考慮しながら、プログラムを策定する。また、開催地の代表者・担当者（避難所であれば責任者、学校であれば校長など）と相談のうえ、周辺の地域住民へも配慮して、日時を設定し、コンサートの告知を行う。</p> <p>また、弊団体の普段の東京エリアでの幼稚園や保育園での活動に、現地での支援活動の報告を加える。また 12 月には、イベントとして都内のホールで現地での活動報告会を兼ねたコンサートを開催することで、東京エリアの子どもたち、子どものいる家庭に現状と復興状況への理解、継続したサポートおよび防災意識を啓発する。</p>
<p>事業内容(事業種別 (コンポーネント) ごと)</p>	<p>裨益者 (誰が、何人)</p>
<p>① 生演奏コンサートのお届け</p> <p>保育所、幼稚園、学校、避難所等へうかがってコンサートを開催。</p> <p>基本スケジュールは 1 回 4 泊 5 日で、1 日目と 5 日目は移動日、2~4 日目は 1 日 1 つの町で 3 箇所前後でコンサートを開催する。</p> <p>【コンサートの特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ フルート、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロの 4 つの楽器と司会 (計 5 名) ・ ステージやホールではなく、教室やロビー等で開催するため、間近で生演奏を体験することができる。 ・ 避難所等へうかがって開催できるため、普段出かけることが困難なお年寄りや体の不自由な方にも楽しんでもらうことができる。 ・ 対象に合わせてプログラム (※) を設定するため、幼児からお年寄りまで楽しんで参加することができる。 ・ 電気を一切使わないため、どこでも開催できる。(屋外は不可) ・ 東京で楽器の寄付を募り、現地へ持ち込むのでたくさんの参加者が一緒に演奏に参加できる。 <p>※ コンサートのプログラムについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「聴く」「歌う」「演奏する」の 3 つの要素を持つ基本プログラムを中心に、対象によって数曲ずつ入れ替えて行う。事前に各演奏場所の代表者・担当者と電話による打合せを行い、対象に合わせた選曲やプログラムを取り入れる。 <p>『聴く』</p> <p>テレビ等でよく耳にするクラシック音楽を 1 曲 3~5 分にアレンジ。リラックスしやすいモーツァルト等の曲も演奏。</p> <p>例：アイネ・クライネ・ナハトムジークより第 1 楽章など</p> <p>『歌う』</p> <p>子どもたちが対象の場合、童謡やジブリ、アニメの曲、また幼稚園の園歌など。</p> <p>ご年配の方が対象の場合、懐かしい昭和歌謡や日本の唱歌。</p> <p>例：となりのトトロ、ふるさと など。</p>	<p>1 つの町で 1 日 3 箇所、1 箇所あたり平均 80 名の参加者を想定。</p> <p>1 回 (4 泊 5 日) で 60 名×3 箇所=240 人 240 人×3 日=720 人</p> <p>6 月から 11 月まで 5 回に分けて各地を訪問。 720 人×5 回=3600 人</p>

『演奏する』

手拍子、足拍子やカスタネットを中心とした打楽器で、強い音、優しい音など曲に合わせて全員で演奏。ただ音楽にあわせるだけではなく、意識して強い音、優しい音を出したり体全体を動かして音を出したりすることで、自己表現の場を提供する。

またそれぞれのプログラムの合間に、楽器の音や仕組みを紹介。新しい知識を学び、音楽にさらなる興味を持つきっかけも提供する。

【事業展開の予定】

各町にて3～5カ所で開催。

- ・ 6月22日～24日 南三陸町・気仙沼・大島
- ・ 7月13日～15日 宮古市・山田町・大槌町・釜石市
- ・ 8月24日～26日 大船渡市・陸前高田市・石巻市
- ・ 10月5日～7日 石巻市・名取市・亘理町・山元町
- ・ 10月26日～28日 相馬市ほか

※現地調査へ出向き、状況によって日程と場所の変更をする場合もある。

各地でのコンサート開催場所の決定については、避難所や仮設住宅の状況が日々変化しているため、現地の災害対策本部、教育委員会またはボランティアセンター等と連携・調整する。

<音楽の効果から考えるサポートの一例>

参考：「実践音楽療法」（日総研出版 2001年）

- ・ モーツァルト等の癒し効果の高いクラシックを演奏する。
 - 不安や悲しみなどの感情を和らげてリラックスさせる。
- ・ 音楽に合わせて演奏したり手をたたくプログラムを取り入れる。
 - 身体的運動を促し、気持ちを発散させる。
- ・ 強い音、優しい音など曲に合わせて音を出すプログラムを取り入れる。
 - 自己表現をすることで自分に自信がつき、普段の生活を積極的に取り戻すきっかけとなる。
- ・ 対象に合わせて、一緒に歌えるプログラムを取り入れる。
 - 「楽しい」「わくわくする」「懐かしい」「感動する」などの感覚を持つことが、今の人生、これからの人生の励みとなる。
- ・ バレエなどでどんな場面の曲か、等想像力を促す音楽やお話を取り入れる。
 - 想像力と生命力は直結している為、生命力を減退させないための手助けとなる。
- ・ 全員で一緒に歌ったり演奏をしたりするプログラムを取り入れる。
 - 一体感を持たせることで、被災者同士、また被災者とボランティアの

<p>方とのコミュニケーションを促進させる。</p>	
<p>② 東京近郊の活動における報告・啓発</p> <p>東京近郊に住む子どもたちは、3月11日に大きな揺れを体験し、テレビで津波の映像を見て、時々続く余震の中、日々過ごしている。しかし東北の出来事はテレビの中のことでないこと、同じ年代の子どもたちがどのような日々をおくっているかを知ることによってこれから長く続く復興に向けて当事者意識を持つことが大切である。そのため、NPO みんなのことばの普段の活動である東京エリアでの幼稚園・保育園のコンサートでの報告の他、イベントとして報告会コンサートを実施する。</p> <p>● 弊団体の都内での活動における報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園、保育園のコンサートにおいて、お話の中で被災地の活動に触れる。 ・ 活動の報告を含んだ保護者向けの配布物を作成する。 ・ 活動の報告が掲載されている弊団体のホームページに誘導し、より多くの情報を共有する。 <p>● イベントとしての報告会コンサート</p> <p>代々木上原のけやきホール（非営利活動であれば無料で借りることができる）または品川区立五反田文化センター等の公共施設にて、200～300名を対象にスクリーンを使用し、画像や映像を交えた報告および親子で楽しめるコンサートを提供する。</p> <p>【日程】</p> <p>2011年12月または2012年1月など、コンサート提供事業が一区切りする段階で実施。</p>	<p>コンサート参加者 200～300名</p>